

令和6年2月22日

「高校野球特別規則（2024版）15(1)」変更及び制定の要点解説

日本高等学校野球連盟
審判規則委員会

平素より本委員会の活動にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、先の1月31日に高校野球特別規則（2024年版）と「高校野球特別規則（2024年版）」改正及び制定の要点解説を通知しましたが、本日開催した第8回理事会にて以下のとおり変更しましたのでお知らせします。

各都道府県高等学校野球連盟では、既に加盟校、審判委員など関係者に周知をしていただいていたにも関わらず変更する運びとなり、深くお詫び申し上げます。

改めて、貴連盟内で周知のほどよろしくお願い申し上げます。

【変更前】

15. タイムの制限

試合の進行をスムーズにするために、下記の規則を採用する。

- (1) 内野手（捕手を含む）が投手のもとへ行ける回数を、1イニングにつき1回1人だけとする。
 - ①伝令が投手のもとに行ったときは内野手（捕手を含む）が投手のもとへ行った回数に数えない。
 - ②投手が交代したとき、最後の準備投球の後に内野手（捕手を含む）が投手のもとへ行けば、内野手（捕手を含む）が投手のもとへ行った回数に数える。
 - ③タイブレークに入った場合も同様とする。



【変更後】

15. タイムの制限

試合の進行をスムーズにするために、下記の規則を採用する。

- (1) 内野手（捕手を含む）が投手のもとへ行ける回数を、1イニングにつき1回1人だけとする。

なお、投手が交代したときは、この限りではなく、投手のもとへ行った回数には数えない。

 - ①伝令が投手のもとに行ったときは内野手（捕手を含む）が投手のもとへ行った回数に数えない。
 - ②タイブレークに入った場合も同様とする。

(変更の理由)

当初、投手が交代したとき、「最後の準備投球の後に」内野手（捕手を含む）が投手のもとへ行けば、内野手（捕手を含む）が投手のもとへ行った回数に「数える」としていました。また、要点解説においても「社会人・大学野球と同じ運用にすることとしました」と周知していました。

しかしながら、「社会人と大学野球における試合のスピードアップに関する特別規則」では、投手が交代したとき、「最後の準備投球の前で」あれば、1人の内野手（捕手を含む）が投手のもとに行っても、投手のもとに行った回数には数えないという運用になるようです。

一方、高校野球においては、これまで準備投球の前ではなく、準備投球を終えた後に1人の内野手（捕手を含む）が投手のもとへ行くよう運用しておりましたので、今回、投手が交代したときは、準備投球の前後にかかわらず、投手のもとへ行った回数には数えないとすることに変更するものです。

以上